

ボランティアだより

2022 立春号

やすらぎホーム

ホームに飾られたおひな様にも春の兆しを感じ、玄関アプローチのプリムラも春色に咲いて春隣りを知らせてくれています。冬季オリンピックもたくさん話題と感動を残して終了しました。その感動も覚めぬうち、冴え返るようにオミクロンの猛威で子ども達の学びの場が閉鎖されたりと気持ちの休まることはありません。

ボランティアの皆さん、お元気ですか？3回目のワクチン接種はもうお済みでしょうか…？ボランティア活動を再開できそうでしたが、またまん防延長で皆さんとお会いできなくなり、活動自粛で丸2年が経ってしまいました。

何か、ホームの方とボランティアさんが繋がることはできないかと模索しましたが、一番ホームの方が喜ぶのは、やはり皆さんとお顔が見える触れ合いであると感じております…。

誰しもがコロナ禍の生活に疲れ、つながりが薄れていくことの不安はぬぐい切れないと思います。

でも大丈夫！この“大丈夫”の中には“人”が三人はいます。それは家族だったり、友であったり、仲間だったり。ボランティアの皆さんがこうして繋がってれば、きっと大丈夫。

脱コロナにはまたお元気な笑顔に会えますことを信じて再開の日をお待ちしております。



この頃には野菊の会さんと久しぶりに会えました😊



お知らせ

捨て布用の布がありましたら富永までお願いします。切る布が不足しています🙏

おねがい



つばやき

世界が大変なことになってしまいました。

2月24日から始まったロシアのウクライナ侵攻はまだ終わりが見えず、恐怖のニュースが毎日流れています。ほんの一部の政治家に、なぜ多くの命を奪われなくてはならないのか、また人殺しをさせられるロシアの人々の気持ち。どうすることもできない実態に本当に憤りを覚えてしまいます。そして日本の元首相の「核共有」論。ウクライナの状況は決して他人ごとではありません。私たちが選ぶ政治家、選挙の大切さを痛感します。

さて、日差しが少しずつ暖かくなってきました。

春、背筋を伸ばし、深呼吸して、新緑の息吹を体いっぱい吸い込んでいきましょう。

そして、平和で何よりも『いのちとケアが大切にされる社会』をめざしていきましょう。

施設長